学校番号	1101

令和２年度　　国語科

教科	国語科	科目	国語総合	単位数	4	年次	1
使用教科書	新編「国語総合」（数研出版）						
副教材等	新訂国語図説（京都書房）常用漢字の１・２トライ（浜島書店）準拠ワーク（数研出版）						

１ 担当者からのメッセージ

・１年生では基礎的な国語の力を身に付ける。
・様々な文章を「読む能力」を向上させるとともに、コミュニケーションのための「話す・聞く能力」や意思を伝えるための「書く能力」をしっかりと身に付けてください。
・古典の時間では、有名な古文と漢文の作品に親しみ、正しく心情等を理解できるよう積極的な姿勢で授業に臨んでください。。
・授業の後には内容を振り返って復習してください。
・提出物は必ず期限までに提出してください。定期考査は学習計画を立てて臨んでください。

２ 学習の到達目標

・目的や場にふさわしい語句を選んで、適切に思いや考えを表現することができる。
・目的や場に応じて的確に文章の内容や構成、登場人物の心情を理解することができる。
・人間関係において、互いを尊重し、相互理解を深め、正しく意思を伝え合うことができる。
・言語感覚を磨き、論理的な思考力、豊かな想像力を場面に応じて活用することができる。
・伝統的な言語文化に対する関心を持ち、国語を尊重する態度を育んでいる。

３ 学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:話す・聞く能力	c:書く能力	d:読む能力	e:知識・理解
観点の趣旨	国語で伝え合う力を進んで高めるとともに，言語文化に対する関心を深め，国語を尊重してその向上を図ろうとする。	目的や場に応じて効果的に話し的確に聞き取ったり，話し合ったりして，自分の考えをまとめ，深めている。	相手や目的，意図に応じた適切な表現による文章を書き，自分の考えをまとめ，深めている。	文章を的確に読み取ったり，目的に応じて幅広く読んだりして，自分の考えを深め，発展させている。	伝統的な言語文化及び言葉の特徴やきまり，漢字などについて理解し，知識を身に付けている。
主たる評価方法	行動の観察 記述の点検 （ノート、ワークシート等）	行動の観察 （発表等のパフォーマンスの評価）	記述の確認及び分析 （ワークシート、原稿用紙）	記述の確認及び分析（ワークシート） 定期考査	行動の観察 記述の確認 （ノート、ワークシート等） 定期考査 小テスト

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4 学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点					単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d	e		
前期	随想一	【近代以降】 〈自分の紹介文を書くことで、文章の書き方を学ぶ〉 教材: 「世界は一つのクラスルーム」 「立ってくる春」	○		◎		○	a:何のために、どのような条件で文章を書くのか、考えようとしている。 c:何のために、どのような条件で文章を書くのか考え、書いている。 e:正しく理解し使いこなせる言葉の数を増やしている。	a、c、e: 記述の点検と確認
	随想二	【近代以降】 教材: 「滅びるものは滅びるままに」	○			◎	○	a:「前者」「後者」などの語や指示語に注意して文脈を追い，筆者の意図する内容を的確に読み取ろうとしている。 d:「前者」「後者」などの語や指示語に注意して文脈を追い，筆者の意図する内容を的確に読み取っている。 e: 筆者の主張に関わる具体例を本文から指摘し，主張とどのように関わっているのかを理解している。	a:記述の点検 d、e:記述の分析及び定期考査
	小説一	【近代以降】 教材: 「とんかつ」	○			◎	○	a: 語り手の視点から状況を読み取り，登場人物の心情に迫ろうとしている。 d: 語り手の視点から状況を読み取り，登場人物の心情に迫っている。 e: 常用漢字の音訓を正しく読み，また文脈に応じて正しく書いている。	a、d、e: 記述の点検と確認及び定期考査
	表現1	【近代以降】 〈自分の変化、成長について話すことで、理解、共感し合えるような話し言葉を身につける〉 教材:「スピーチ」	○	◎			○	a: 何のために，誰に向かって，どのような条件で話すのかを考えて，それにふさわしい話し方を考えようとしている。 b: 何のために，誰に向かって，どのような条件で話すのかを考えて，それにふさわしい話し方をしている。 e: 文体の違いによる特色について理解している。	a、b、e: 行動の観察と確認

	評論二	【近代以降】 教材:「水の東西」	○			◎	○	a: 文章の具体例と抽象的表現を的確にとらえようとしている。 d: 文章の具体例と抽象的表現を的確にとらえている。 e: 常用漢字の音訓を正しく読み，また文脈に応じて正しく書いている。	a:記述の点検 d、e:記述の分析及び定期考査
		【近代以降】 〈「水の東西」に基づいて、意見文を書くことで、文章の書き方を学ぶ〉 教材: ワークシート	○		◎		○	a:文章の形態や文体、語句などに合った適切な表現の仕方で書こうとしている。 c:文章の形態や文体、語句などに合った適切な表現の仕方で書いている。 e:書くことに必要な、文章の形態や文体の違いによる特色について理解している。	a、c、e: 記述の点検と確認
	小説四	【近代以降】 教材:「旅する本」	○			◎	○	a: 人物，情景，心情などを，どうして筆者がこのように描いているのかをとらえ，象徴，予兆などに果たしている効果に気付こうとしている。 d: 人物，情景，心情などを，どうして筆者がこのように描いているのかをとらえ，象徴，予兆などに果たしている効果に気付いている。 e: 擬人法を理解している。	a:記述の点検 d、e:記述の分析及び定期考査
	古典入門	【古典】 教材: 「古文に親しもう」 説話『宇治拾遺物語』 「児のそら寝」	○			◎	○	a: 文章に描かれている人物の心情を表現に即して読み、異なる立場から読み深めようとしている。 d: 文章に描かれている人物の心情を表現に即して読み、異なる立場から読み深めている。 e: 歴史的仮名遣いについて理解している。	a:行動の観察 d:記述の確認及び定期考査 e:小テスト及び定期考査
	随筆	【古典】 教材: 『徒然草』 「高名の木登り」 「奥山に猫またといふものありて」	○			◎	○	a: 文章に描かれている情景を，文や文章，語句などから離れないようにして読み，人物の言動や状況をとらえようとしている。 d: 文章に描かれている情景を，文や文章，語句などから離れないようにして読み，人物の言動や状況をとらえる手掛かりとしている。 e: 語句の意味について理解している。	a:行動の観察 d:記述の確認及び定期考査 e:小テスト及び定期考査

	歌物語	【古典】 『伊勢物語』 「芥川」 「筒井筒」	○			◎	○	a: 文章に描かれている情景を，文や文章，語句などから離れないようにして読み，人物の言動や状況をとらえようとしている。 d: 地の文と和歌の関係をふまえて男の心情をとらえている。 d: 贈答歌の手法を理解して，登場人物の心情をとらえている。 e: 文語のきまり（過去の助動詞・助動詞「ず」・接続助詞「ば」）を理解している。	a:行動の観察 d:記述の確認及び定期考査 e:小テスト及び定期考査
後期	小説二	【近代以降】 教材:「羅生門」	○			◎	○	a: 文章に描かれている人物の心情を表現に即して読み，その人物像をまとめようとしている。 d: 文章に描かれている人物の心情を表現に即して読み，その人物像をまとめている。 e: 語句の意味について理解している。	a:行動の観察及び記述の点検 d、e: 記述の確認及び定期考査
		【近代以降】 〈羅生門」に基づいて、小説を書くことを学ぶ〉 教材: ワークシート、 原稿用紙	○		◎		○	a:物事の様子や場面などを、読み手が言葉を通してありありと想像できるよう描こうとしている。 c:物事の様子や場面などを、読み手が言葉を通してありありと想像できるよう描いている。 e:書くことに必要な、文の組立てについて理解している。	a、c、e: 記述の点検と確認及び分析
	表現2	【近代以降】 〈本を紹介しあうこてで、話し方聞き方を学ぶ〉 教材:「ブックトーク」	○	◎			○	a: 対象とする本の魅力を伝え、聞き手をひきつける効果的な話し方をしようとしている。 b: 対象とする本の魅力を伝え、聞き手をひきつける効果的な話し方をしている。 e: 話すこと・聞くことに必要な、文章の形態や文体の違いによる特色について理解している。	a、b、e: 行動の観察と確認
	短歌と俳句	【近代以降】 教材:「短歌」	○			◎	○	a: 三十一文字のリズムや句切れをふまえて短歌を読もうとしている。 d: 三十一文字のリズムや句切れをふまえて短歌を読んでいる。 e: 詠嘆表現，体言止めなどが，表現上の特別な効果を生み出すことがあることを理解している。	a:行動の観察及び記述の点検 d、e: 記述の確認及び定期考査

	評論三	【近代以降】 教材:「「わらしべ長者」の経済学」	○			◎	○	a:「わらしべ長者」の一般的な解釈と，経済学的解釈について理解し，筆者の考えの進め方をとらえようとしている。 d:「わらしべ長者」の一般的な解釈と，経済学的解釈について理解し，筆者の考えの進め方をとらえている。 e: 正しく理解し，使いこなせる言葉の数を増やしている。	a:行動の観察 d:記述の確認及び定期考査 e:小テスト及び定期考査
	小説四	【近代以降】 教材:「清兵衛と瓢箪」	○			◎	○	a: 文章内容から登場人物の人物像や行動についてまとめようとしている。 d: 文章内容から登場人物の人物像や行動についてまとめている。 e: 慣用句を正しく理解し，使いこなせる言葉の数を増やしている。	a:行動の観察及び記述の点検 d、e: 記述の確認及び定期考査
	表現5	【近代以降】 〈ディベートを通して、互いの考えを深めながら、話し方聞き方について学ぶ〉 教材: 「ディベート」	○	◎			○	a: 相手の考えをふまえて自分の考えを説明したり，考えを相対化したりして話し合おうとしている。 b: 相手の考えをふまえて自分の考えを説明したり，考えを相対化したりして話し合っている。 e: 話すこと・聞くことにおける言語運用が，個人や社会の中で果たしている役割について理解している。	a、b、e: 行動の観察と確認
	故事	【漢文】 教材: 「助長」 「虎の威を借る狐」	○			◎	○	a: 漢文訓読の文体に注意しながら読もうとしている。 d: 漢文訓読の文体に注意しながら読んでいる。e:古文を読むことに役立つ、文語のきまりを身に付けている。 e: 訓読のきまり(書き下し文の原則)を理解している。	a:行動の観察及び記述の点検 d:記述の確認及び定期考査 e:小テスト及び定期考査
	和歌	【古文】 教材: 「古今和歌集」	○			◎	○	a: 歌に込められた心情や詠み込まれた情景を理解しようとしている。 d: 歌に込められた心情や詠み込まれた情景を理解する。 e: 和歌の修辞や，語句の用い方について理解している。	a:行動の観察及び記述の点検 d、e: 記述の確認及び定期考査

	唐詩	【漢文】 教材: 「絶句と律詩」	○			◎	○	a: 情景，心情を，どうして筆者がこのように描いているのかをとらえ，修辞の表現効果に気付こうとしている。 d: 情景，心情を，どうして筆者がこのように描いているのかをとらえ，修辞の表現効果に気付いている。 e: 漢詩の形式や語句・語彙の構造的な仕組みについて理解している。	a:行動の観察及び記述の点検 d:記述の確認及び定期考査 e:小テスト及び定期考査
	軍記物語	【古文】 教材:『平家物語』 「木曽の最期」	○			◎	○	a: 人物，情景，心情などを，どうして筆者がこのように対比的に描いているのかをとらえ，その効果について考えようとしている。 d: 人物，情景，心情などを，どうして筆者がこのように対比的に描いているのかをとらえ，その効果について考えている。 e: 文語のきまり(音便)を理解している。	a:行動の観察及び記述の点検 d:記述の確認及び定期考査 e:小テスト及び定期考査

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　b:話す・聞く能力　c:書く能力
d:読む能力　e:知識・理解

※　評価の観点のうち「関心・意欲・態度」と「知識・理解」については、すべての単元に位置付けて○印を、また、その単元で主として扱う国語の領域（「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」）に関わる観点には◎を付している。